

ちよっぴり 暮らし豊かに

薄く・細く

「左官屋さんのわさび漬け」

旬を迎える安曇野穂高のわさびを使って、わさび漬けの作り方の手ほどきを受けました。

ご指導いただいたのは、安曇野市豊科高家の赤羽左官店を営む赤羽正至さんです。山共建設協力会設立時からの会員でもあり、ご存じの方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。

赤羽さんは、ものづくりが大好き。保育園児には泥だんごで土に触る楽しさを体験してもらったり活動や、自分が育った地元小学校の校歌を残す活動など様々な方面で活躍されています。



▲講師 赤羽正至さん

が、なかでも作り始めて38年、納得行くまで材料や分量を調整してきたわさび漬けは天下一品。毎年、シーズンになると届けて下さるわさび漬けを教えたいだけなものかと、お願いしたところ、「あいよー」と引き受けられました。

フットワークが軽い赤羽さんは、道具と材料一式を持って、出張講習に来てくださいました。

わさび専用の包丁とまな板は、「壁正」の刻印入りで、左官の職人魂がこころでも伝わってきます。わさびは20センチほどもある大物。(わさびの生育には約20カ月もの栽培期間が必要とのこと)使用する塩は3億年前のヒマラヤの岩塩と、酒粕は銘酒「夜明け前」の蔵元で辰野の小野酒造店の粕にたどり着いたとのこと。

手入れの行き届いた包丁をおもむろに取り出す赤羽さん。さつそく、わさび漬け作りに入りま



▲爽やかな香りを放つわさび

ライスした後、繊維に沿って極細く千切りにします。赤羽さんは切っている私たちにひたすら「うんと薄く、うんと細く！」と檄を飛ばします。わさびの香りが部屋いっぱいになり、同時に目と鼻を刺激します。細く切るほど粕と馴染みやすくなり、辛味も増すようです。こうして、10本ほどのわさびを切り終え、茎もみじん切りにし、岩塩をかけ混ぜます。しんなりとしたわさびを、あらかじめ砂糖と水あめで練った酒粕に入れまんべんなく混ぜます。

このままでも美味しいのですが、2・3日寝かせて塩味と甘みが馴染んだ頃が食べ時。

わさびに絡んだ酒粕の甘みがほどよく、この時薄く細く切った

効果を実感しました。不要な添加物は使用せず塩分控えめでも、冷凍で長期保存できるのはうれしい限りです。しかも、わさびの鮮やかな緑色も保てます。赤羽さんおすすめの食べ方は、晩



▲手入れの行き届いた専用道具



▲完成 わさびがたっぷり入っています

酌のお供にそのまま頂くのはもちろん、煮いかに和えたり、焼いたお餅にのせて食べるのもまた格別だそうです。我が家では、わさび漬けは買って食べるものと決まっていたのですが、穂高のわさび屋さん以上の美味しいものができていることを知りました。野菜のようにたくさん量を食すわさびではありませんが、安曇野の名産わさびが身近なものに感じられました。

わさびの旬を待っての講習となったわけですが、師走に入ってから、しめ縄作りの講習も引き受けているとのこと

で、ますますお忙しい赤羽さん。地域の方との交流にも熱心です。また、わさびの花が咲くころになると花や茎を使ってみそ漬けに精を出します。

いつも朗らかで、様々なことに興味を持ち周囲の人を和ませ、笑顔にしてくれる赤羽さん。

これからもますます左官業・地域のご活躍をお祈りいたします。

ゆたか

vol.15

発行日：2023年3月



山共建設株式会社

創業大正10年

〒399-8102
安曇野市三郷温 3350
TEL. 0263-77-3161
<https://www.yamakyo-k.com>
✉ kentiku@yamakyo-k.com

山共建設会報誌「ゆたか」

発行日：二〇二三年三月三十一日

発行所：山共建設株式会社

発行人：降幡真

印刷所：(株)成進社印刷

電話：〇二六三三三三三〇一

お客様の声

松下幸之助氏と茶の湯

小口基實様

(岡谷市 作庭家 庭園史家)

今から四〇〇年ほど前の織田信長の時代から、日本のトップの人達によって、茶の湯は伝統とされてきた。天皇、貴族、僧侶、武士、代官、大商人、医者等、財

も位も感性もある最上級の人達の教養でもあった。明治時代に入ってヨーロッパかぶれした日本のイン

ズムという西欧と日本を混ぜた文化を造り始めた。だが日本の文化もかなり復活し、茶の湯もブームになった。特に政治家や事業家が料亭文化を捨てることのできなかつた。政治家と事業家が腹を割って最終の話は、赤坂のあたりの料亭であった、今でもそうである。

そんなわけで少なくとも料亭は、日本文化のギュラリーである。建築、茶室、庭園、床の間、掛け

▲小口基實様宅



軸、料理、陶器、生花というように、日本文化の終極の場でもある。またそれは中世以来日本を動かした人達の、最終の落ち着き場所であったようである。今でも六本木あたりの料亭のタタミの部屋で、金

バジの先生方は手始めをする。明治時代生まれの事業家は特に、最後は茶の湯に首を入れることが多かった。東急コンツェルンの五島慶太は五島美術館を造った。中の多くは茶道具である。

阪急電鉄の小林一三も大茶人である。根津嘉一郎も茶の湯を愛し、服部セイコーの服部氏も山楓なる茶室で、茶の湯を愛した。諏訪湖のサンリツ美術館の八割は茶道具関係である。

松下幸之助は茶の湯は、「日本文化の総合である」

「私は死ぬまで毎年各県に、茶室を寄贈して死ぬ」と言っていて、最後に三重県に茶室を建てて没した。茶道理解者で、恐らく事業家茶人として最後の人であろう。茶人ではなかったとしても後援者であった。

日本文化はある意味で、終わりがも知れない。戦中派戦後派、実業家で茶の湯をする人はほとんどいない。戦争で茶の湯のようなすばらしい遊びごとは断たれ、日本文化が大きな断絶の時代を迎えたこと、戦後アメリカナイズされた結果であろう。

信長・秀吉から日本のトップを走ってきた人達の成功者の晩年は江戸時代も明治時代も「茶の湯」に頭を突込んだ。それが松下幸之助で終わりである。

茶の湯も花道も大衆化して、墜落したままである。大衆文化という目で見れば、世界で例の無いすばらしい文化である。少なくとも、茶を飲むことに月謝を払うという文化は世界で日本しかない。一〜三年後には信州へ茶室を：という気があったとか。



▲小口基實様 自宅茶室にて



R4年10月
かわいいおばけがご来社



今日はハロウィン。お隣のサンライズキッズ保育園からかわいいおばけ達、「Trick or Treat」(トリックオアトリート)の元気な掛け声とともにやってきました。
玄関も少し飾り付けてお迎えしました。
仮装したかわいいおばけの中には、きょとーんとしていたおばけもいましたが、またその表情が愛らしい。私たちも一緒に笑顔になります。

R4年12月
サンタがやって来た!

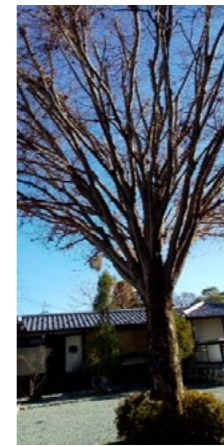
サンライズキッズ幼稚園安曇野園より依頼を受け、サンタ役を引き受けることになった社員Mさん。
始めは照れ臭そうな様子でしたが、園児さんたちにプレゼントを渡すころには、すっかりサンタさんになりきっていました。
園児のみなさんも、とても嬉しそうでした。

R4年12月
会長、落ち葉掃きに精を出す!

社屋の隣にある樹齢60年ほどになる樺の大木。夏には涼しい木陰を作ってくれます。
昨年枝をおろし、その反動からかすごい勢いで葉が茂り、11月下旬より手のひら以上もの大きさの葉が枯れ葉となつて降り積もっています。
会長は毎日落ち葉掃きに精を出しています。
一般に迷惑に思われる落ち葉ですが、会長の想いはそうではないようです。
二酸化炭素を吸って酸素を排出し、環境を良くしてくれている。それに夏の暑



さも和らげてくれているので、感謝の気持ちを持って掃除させてもらっているんだよ!...と。
お陰様で、敷地内は毎日きれいになっています。ありがとうございます。とても93歳とは思えない仕事ぶりです。



R5年2月
3年ぶりの除雪車出動

令和2年3月より3年ぶりの大雪に見舞われました。
弊社の土木部でも大型グレーダに乗り、除雪作業へと向かいます。
このころ出動がなかったグレーダですが、除雪作業ではなくてはならない働く重機なのです。オペレーターも雪の中に埋もれている車止めやマンホールの破損に神経を使いながら、夜を徹しての作業が続きます。
幸い休日の降雪となったため、交通に大きな影響はなく一安心。お疲れ様でした。



不動産の仲介・売買はお気軽に
山共建設までご相談ください
☎0263-77-3161 ✉kentiku@yamakyok.com

旧開田村民家3度目の再建へ

フランスへ嫁いだ旧開田村民家が今回で最後となる3度目の再建に向けて動き出しました。最初が2007年パリのシャイヨ宮にある文化人類学博物館内(Musée de l'Homme・2009年解体)。2度目が2010年ルイヴィトン財団の運営するアクリマシオン庭園(Jardin d'Acclimatation・2018年解体)そして次回の予定地がパリ市内から南へ15キロほど離れたヴァレ・オー・ルー公園内(Parc Vallée aux Loups)です。

今回は2018年の解体以降コロナの影響もあり、約5年にわたりコンテナに保管されていた木材の検品をするため、1月下旬から2月上旬にかけて渡仏しました。約12メートルの長さのコンテナ2台に建築木材など大量の材料が納められており、その材料を大工さん2人と私の計3人で搬出し、検品して再び詰める作業をしてきました。パリ郊外の広大な農場の大きな農業倉庫の一角に保管されていたということもあり、2週間ほどで順調に作業を終えることができました。再建は来年以降、木材調達と輸出でスタートする予定です。進展がありましたらまた報告させていただきます。



▲コンテナに保管されている開田村民家【検品前】

文・降幡 真

bathroom システムバスルーム リデア お手入れらくらく、毎日きれいなユニットバスのご紹介 LIXIL



■カウンターを外してまる洗いできるから、裏までピカピカに。洗にくい壁や床もラクな姿勢で洗えます。
■壁のお好みの位置に取り付けられ、カンタンに取り外してまる洗いできます。

3つの湯のチカラで、健やかな美しさを手に入れる。
1. シルクミスト吐水
2. エコアクアシャワー
3. パワーマッサージ吐水
4. アクアスプレー吐水
5. サーマバス (保温組フタ・浴槽保温材)
6. キレイサーモフロア (汚れが付きにくい表面処理層、水はけの良い清パターン、中空バルーンを含む断熱層、基材層)

